

府本部は、春の仲間づくり運動で「飛躍」をつくり、現在の5500人の組合員を5600人台へ回復させよと、3月後半から4月上旬にかけて北部5支部、口丹3支部、市内10支部、乙訓3支部でブロック集会を行いました。参加者は4か所合計で支部から61人、府本部から延べ18人が参加しました。南部ブロック集会は、5月24日(金)の開催です。

支部活動の現状や仲間づくりの決意が、元気な支部からも少し元気でない支部からも活発に出され、議論が展開されました。4か所のブロック集会で出された特徴的な発言を抜粋して掲載します。

仲間づくり月間への決意
丹後支部は府本部が提起した目標数を上回る28人を目標とさせていただきます。

伏見支部は「歌う会」のサークルができた。「声をかけない」と増えないので、支部の自主目標20人をめざしてがんばる。

亀岡支部役員会議では、突っ込んだ議論にならない。仲間づくりになると場が「しゅん」となり仲間増やしの議論が支部ですすまない。



市内ブロック

サークル活動、楽しい取り組みについて
左京支部には農園クラブがある。自然の中のんびりできる。畑にいったら誰かに会えるし、会

春の仲間づくり運動(4月~6月)で「飛躍」を全組合員の力をかりて「5600人」台を回復しよう!

ブロック会議で経験を交流
「高齢者の居場所づくり」
「気軽に声をかけ誘おう」

高木野衣弁護士は「最高裁判決の意義と展望」についてお話しされ、本裁判と共に歩まれた10年を振り返りながら、これまで裁判で主張してきたことを丁寧に説明されました。

最高裁での獲得目標を①大法廷回付による統一の審理と違憲判断②堀木訴訟(憲法25条)の突破③社会権規約など国際的な人権水準を踏まえた憲法解釈としたが、兵庫事案では、すべての項目で上告棄却し憲法違反

延回付による統一の審理と違憲判断②堀木訴訟(憲法25条)の突破③社会権規約など国際的な人権水準を踏まえた憲法解釈としたが、兵庫事案では、すべての項目で上告棄却し憲法違反



「社会保険法は人権」であることを忘れ、憲法の理念、国民年金法の設立趣旨に反した不当判決である。」と述べられ、皆さんもそう思いませんかと問いかけました。



口丹ブロック

えなくても自分の仕事をすればよい。高齢者には「居場所」が必要。です。

大山崎支部のパソコン・スマホ教室は、講師がいないので「わからないことを聞く会」として取り組んでいて好評です。

舞鶴支部では新しく加入された方が友達を誘って参加される。旅行は年7回、4月3日に植物園に行くが60人乗りのバスに59人が予約されている。

3・13重税反対 全国統一行動に全支部が参加!

今年はインボイス制度の中止の要求も掲げ、消費税増勢など重税反対の統一行動が3月13日京都府内一円で行われ、年金者組合も全支部が参加しました。各支部で集められた請願書は1600超(中間集計)が各税務署に提出されました。

宮津税務署への行動
宮津地域では、ミッパル4階会議室で集会が行われ40人が参加しました。京建労や民商の代表が挨拶され、集会宣言を読み上げ採択されました。

集会終了後、宮津税務署まで宣伝カーを先頭にシユプレヒコールをしながらデモ行進しました。税務署の駐車場の一角にテ



乙訓ブロック

亀岡支部の紹介、長岡京のサークルへの参加、向日支部からは指導者が参加する「出前サークル」の実施等の支援策が出されました。

近隣支部の援助について

大山崎支部からの仲間づくりやサークル活動で近隣支部の協力依頼に対し、長岡京支部からは「対象



宇治税務署への行動
3・13重税反対全国統一行動山城地域決起集会が、京田辺市立中央公民館で開かれ、京建労綴喜・八幡支部、山城民主商工会など約50人が参集。

宇治税務署への行動
3・13重税反対全国統一行動山城地域決起集会が、京田辺市立中央公民館で開かれ、京建労綴喜・八幡支部、山城民主商工会など約50人が参集。

宇治税務署への行動
3・13重税反対全国統一行動山城地域決起集会が、京田辺市立中央公民館で開かれ、京建労綴喜・八幡支部、山城民主商工会など約50人が参集。

バイバイ原発きょうと 円山集会100人が参加

山科支部 矢吹美根子さん
「バイバイ原発3・9きょうと」が3月9日に円山音楽堂で開かれ、1100人が参加しました。寒い風の吹く日でしたが集会後は京都市役所までデモも行いました。

今年の講演は「福島原発事故を追いかけて13年」としてプロ芸人「おしどりマコ・ケン」さんが登壇、東京電力の記者会見



に500回以上出席し続けて内容を発信していること、

原発事故を心配しなくてよい日本へ 北部集会250人参加

3月10日(日)、西公民館において原発ゼロをめざす北部集会が行われ、多くの参加者が、能登半島地震の恐ろしさと、地震国日本は何処でも起こりうる貴重な教訓を学びました。

大飯原発運転差し止め訴訟で奮闘しておられる渡辺輝人弁護士



訴訟への対応」と題して講演されました。

「輪島や珠洲の高屋地区で2mから4mの地殻の隆起が起きること。日本に地殻の隆起を想定して造られている建築物は一つもない。原発の近くで隆起が起きれば防ぎようがない。もし、珠洲に原発が造られていたら奇酷事故が生じていた。先人の粘り強い反対運動の成果で助かった。」など大変わかりやすく話されました。(「舞鶴年金者しんぶん」から抜粋)



植物園でお花見会
右京支部

M・Nさん記

桜の開花を予測し、3月25日(月)に決めた。当日はあいにくの小雨模様でしたが、15人が集いました。傘をさしての桜鑑賞に。園桜の木が500本あり200種類あるそうです。桜品種見本園では開花が遅れていて蕾はかたく、園内でも数本しか開花していないとのことでした。開花の桜を求めて園内の説明を聞きながら散策しそれぞれに

楽しい取り組み
レポート
PART III



大芝生地で雨宿りできそうな場所。持参の弁当を広げ、花見気分です。

満開の植物園でお花見
南支部

松倉三千夫さん記

四月七日、京都府立植物園で行われた南支部の花見に参加しました。総勢一五名で、春のつららかな日差しの下、満開の桜を満喫してきました。最初は、



違いや花の特徴を聞きまし。開花時に来るのが楽しみです。

解散後、園内を自由散策。園内の桜は種類が豊富。色も、薄墨桜の白から、ピンク、濃いピンク。形も普通の桜からしだれ桜まで、多種の桜が一斉に咲き誇り、桜の花園でした。桜の下は雪柳や色とりどりのチューリップ、名も知らない花々、菜の花など、春の花で彩り満載でした。



新入組員歓迎 花見のつどい

楽しいレク活動や文化作品展、ウォーキングなど組員・高齢者の参加しやすい行事を支部主催しています。

最高現勢は320人
過去最大時320名を超す組員で活動していましたが、亡くなったり、退会した組員の補充が十分でなく(広く言えば世代継承が来ず)現在260名台で奮闘しています。

支部紹介 26 伏見支部

京都市面積の7% 伏見区

地域要求実現の牽引車に
年金者組合が奮闘したい

伏見支部は、京都市で最大の人口約27万を抱える伏見区一円を活動エリアとする支部です。稲荷山や醍醐山をかかえ、宇治川・山科川、賀茂川が流れる東西15キロ南北11キロ(京都市面積の7%)と守備範囲が広く、その昔「伏見区の3分区説」がまことしやかに囁かれたこともあります。

伏見支部は、京都市で最大の人口約27万を抱える伏見区一円を活動エリアとする支部です。稲荷山や醍醐山をかかえ、宇治川・山科川、賀茂川が流れる東西15キロ南北11キロ(京都市面積の7%)と守備範囲が広く、その昔「伏見区の3分区説」がまことしやかに囁かれたこともあります。

交通の不便さ明治以来廃藩置県の後、昭和4年(1929年)に市制が施行される際、京都市に吸収されるのを拒否し「伏見区」をつくったこと、「いやがらせ」か、京都市中心部に比較して公共施設や公共交通網が遅れています。

特に高齢者の移動の自由には大きな隔たりがあり、年金者組合がその地域での運動の牽引車としての奮闘も始まっています。これらの地域要求実現への運動を進めながら、年金者組合員を増やす取組を強めていこうと話合っています。

平岡謙二支部長

仁和寺の裏・成就山の約3kmにわたる山道にお堂(札所)が点在しています。これをすべてお詣りすれば四国八十八ヶ所霊場巡礼と同じご利益を得



仁和寺の境内で記念撮影

3月になって半年遅れの総会を開き前年度のまとめをし、新しい方針を決めることができた。議案が全て承認された後、組員さんのアコーデオンの伴奏で「年金時代」の歌唱指導をしてもらった。談笑しながらの

御室八十八ヶ所めぐり
西京支部

新宮峰男さん記

西京支部は、3月13日、ハイキングクラブ100回記念の行事として、御室八十八ヶ所めぐりを行いました。

今年は、天候が不順で桜の花も4月に入ってから満開となりました。楽しい取り組みを中止された支部もありました。にも関わらず多くの原稿を送りいただきました。ごさいました。(Y・M)

編集後記

楽しく支部総会
綾部支部

大槻知行書記長

例年であれば夏か秋のはじめに行っていた支部総会をやっと開催することができました。

開催が延び延びになっていたのは、役員の引き受け手がなく新しい役員体制ができなかったからである。組員の高齢化などで役員の手がないのが悩みである。



写真(右) アコーデオンの伴奏で合唱
写真(上) 挨拶される府本部山本委員長

昼食の後は、例年のように参加者の交流を行った。暮らした話や孫のこと、それに現政権への不満などいろいろな話題が次から次と出され、楽しい交流会で総会を終了することができた。

花の蜜が好物のメジロ
いつも番で行動

スズメ目メジロ科



野鳥の中では極めてポピュラーなメジロ。市街地の庭や公園などどこにでもいるメジロだが、鳴き声の美しさから野鳥を好む人たちから好まれている鳥です。春になると河津桜を皮切りに花の蜜を吸いに花から花に飛びまわっている。その昔メジロは山で捕獲しその美しい鳴き声を聞くために鳥かごで飼っていた時期があった。最近では捕獲が禁止されたため家では飼育できなくなった。

メジロはその名前の通り、目の周りが白く、縁取られていることが特徴です。つがいでいることが多く、花の蜜を吸うときでも一羽ではなく必ずと言っていいほど2羽が一緒に行動しています。

春を告げる時に「梅に鶯」という表現をする場合があるが、梅に鶯が止まることはめったになく、梅にやってくるのはメジロです。蜜を吸うためです。メジロのショットとしては椿や山茶花など赤い色がよくマッチしている。(浜)